

2012 年度入学時アンケートの結果（報告）

FD 委員会

I. アンケートの概要

2012 年 5 月下旬～6 月上旬に新入生を対象にユニパのアンケート機能を用いて実施した。アンケートは、回答者の属性、本学受験に役立った情報、志望順位、アドミッション・ポリシーの参考の程度、学業面の不安、生活面の不安、将来の進路、学士力達成度 19 項目、意欲 2 項目より構成。709 名の回答が得られた（回答率 53.1%）。

II. 全体の傾向

1. 属性

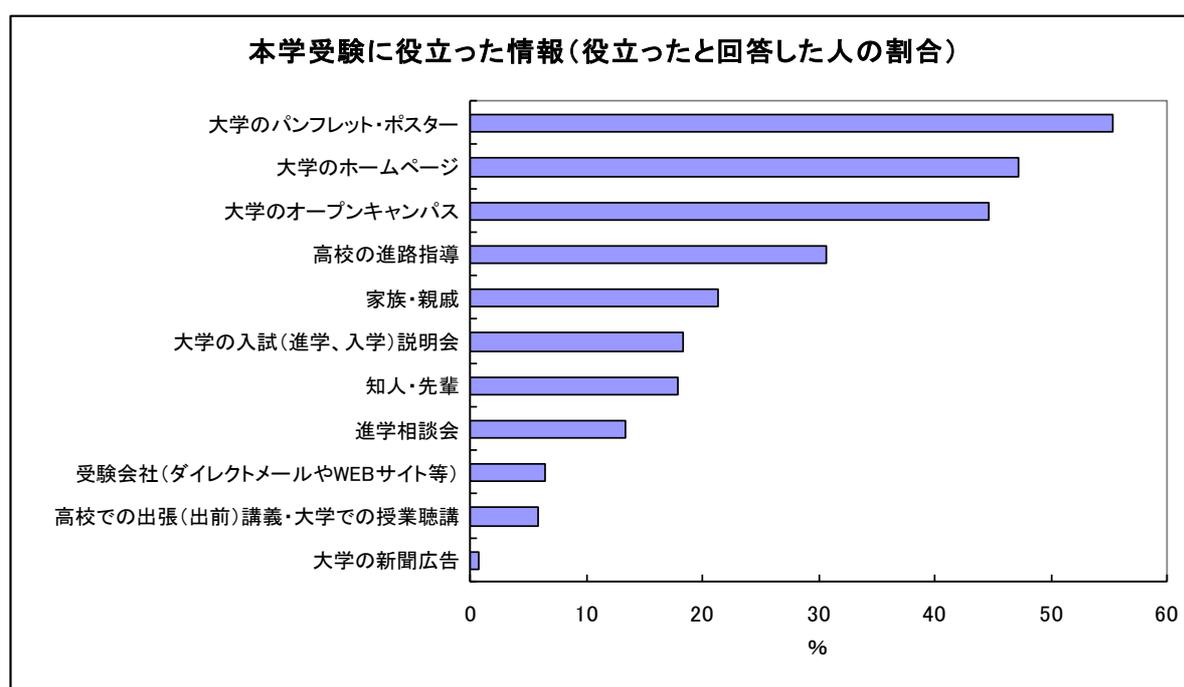
回答者の属性の人数と割合は、表 1 の通りであった。

表 1 回答者の属性

属性	人数	(%)
性別	男子	212 (30.0)
	女子	495 (70.0)
入試形態	AO入試	69 (9.8)
	推薦	185 (26.2)
	一般	453 (64.1)
居住形態	自宅	335 (47.3)
	自宅外	373 (52.7)
「実学臨床教育」	実学生でない	278 (87.1)
	実学生である	41 (12.9)
アルバイト	していない	82 (11.6)
	これからしたい	430 (60.7)
	している	196 (27.7)

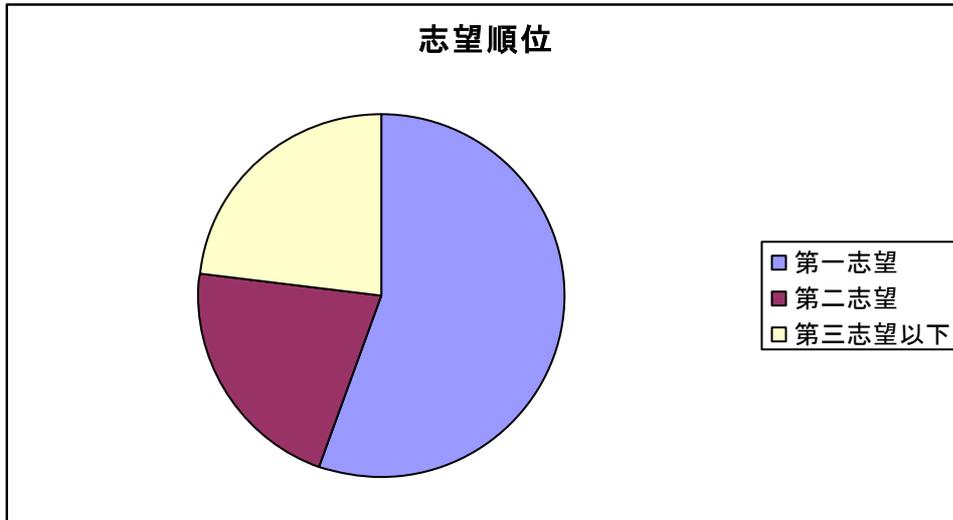
2. 本学受験に役立った情報

「大学のパンフレット・ポスター」「大学のホームページ」「大学のオープンキャンパス」が高かった。これらは力を入れるべき項目ともいえる。



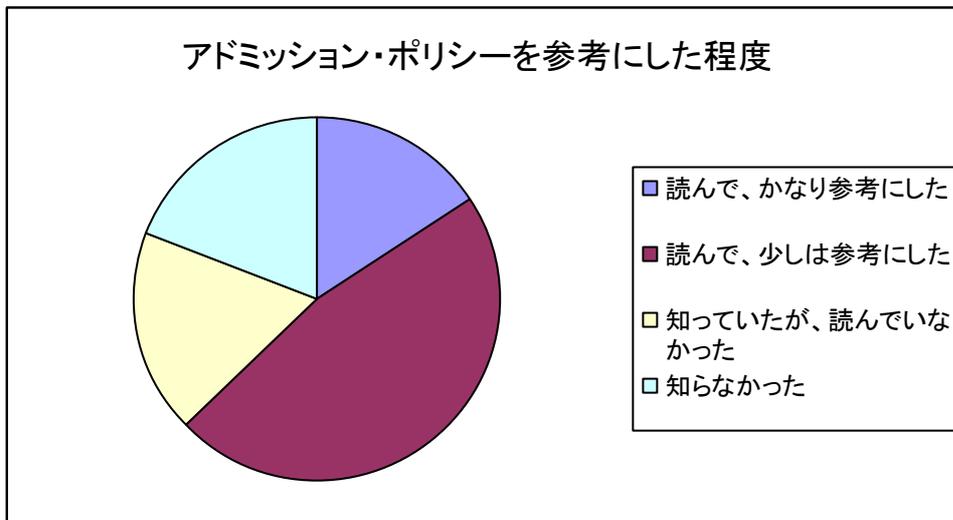
3. 志望順位

約半数が第一志望である。第三志望以下も約2割在学している。志望大学でなかった学生に対してリエゾンゼミ担任などによるフォローも必要である。



4. アドミッション・ポリシーを参考にした程度

約半数がアドミッション・ポリシーを読んで少し参考にしていて、約8割の学生がアドミッション・ポリシーについて知っており、その活用が望まれる。

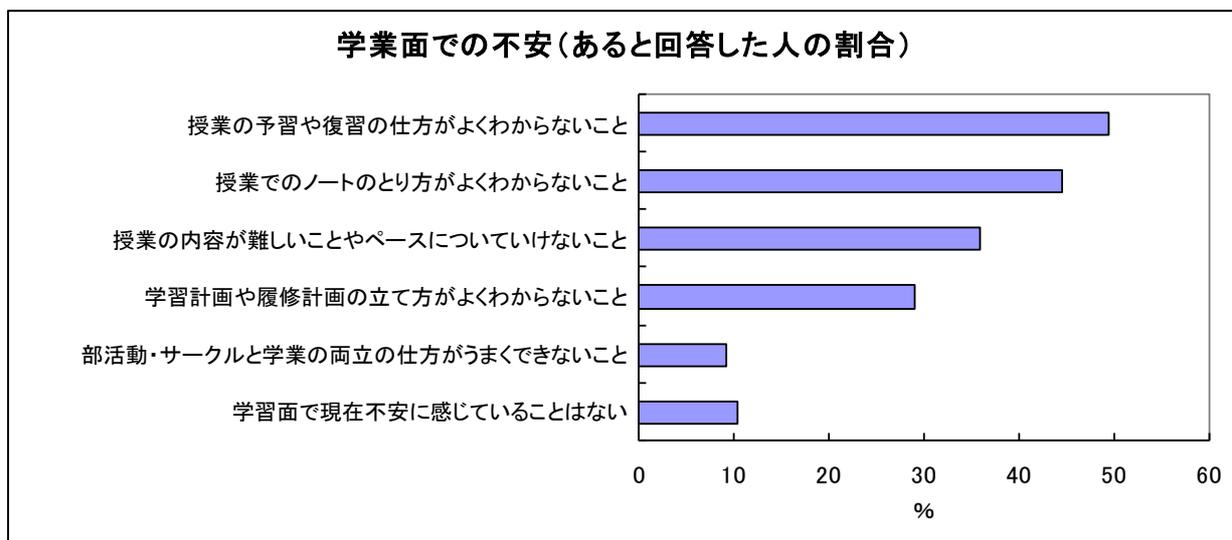


5. 学業面の不安

予習・復習の仕方やノートのとりにとまどっている学生が半数近くいる。

リエゾンゼミ I では、ノートのとりに方について指導しているが、合わせて予習・復習の仕方についても指導することが必要であろう。

内容が難しいと感じている学生も約3割おり、初年次では授業内容についての配慮・工夫が求められる。



6. 生活面の不安

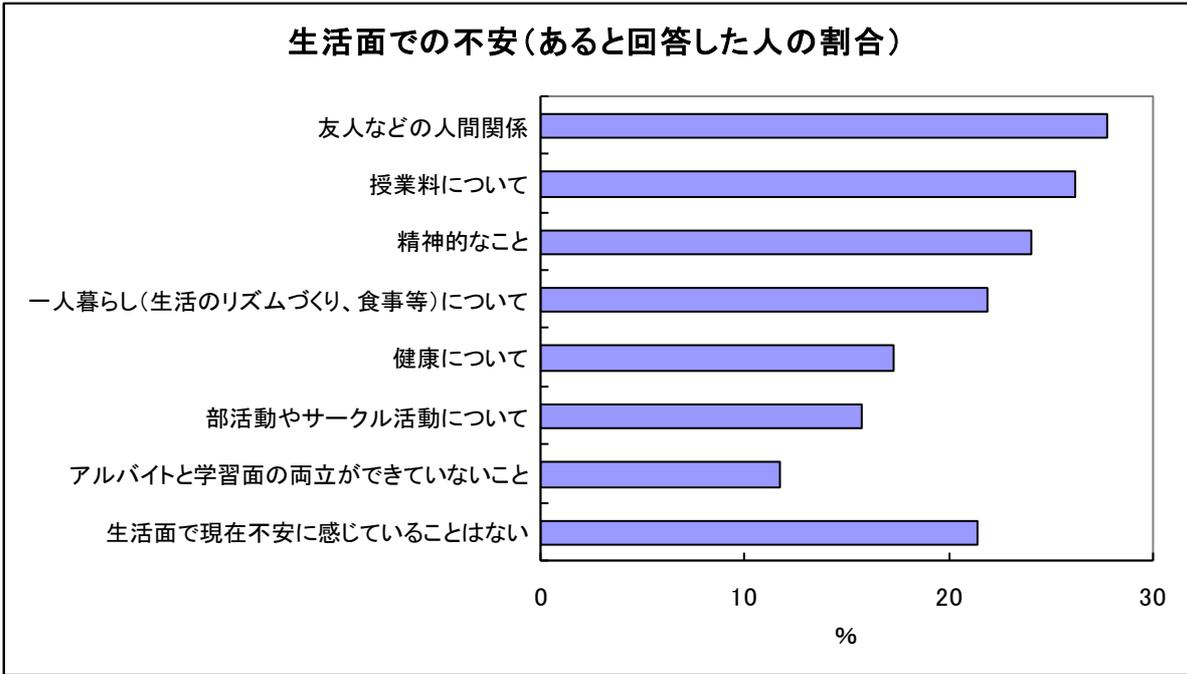
友人などの人間関係と授業料について不安を感じている学生が約3割いる。

リエゾンゼミでは、最初にアイスブレイク等を行うことで友人関係づくりを支援しているが、人間関係の継続的な支援に配慮することが必要であろう。

授業料については、経済的不況を反映していると思われ、経済的支援制度の周知により不安の解消を図ることも求められる。

4人に1人が精神的なことについて不安を感じており、メンタル面での支援も欠かせない。本学では、保健室、ウェルネス支援室(そのつどの相談)、学生相談室(継続相談)、予防福祉クリニック(内科・整形外科)、せんだんホスピタル(内科・精神科)による手厚い支援を行っており、周知も必要であろう。

一人暮らしについての不安は全体の約2割であるが、自宅外の学生における割合で見ると、約4割(41.6%)になる。したがって、一人暮らしをしている学生への支援も求められる。本学では、栄養面における一人暮らし応援(学食でのメニューの工夫、一人暮らしのレシピなど)、健康向上のための生活習慣を身につけるための「元気点検票」(webシステム「マイカルテシステム」、webサイト「元気点検道場」、「元気点検票かるた」など)も用意しており、その積極的な活用が望まれる。

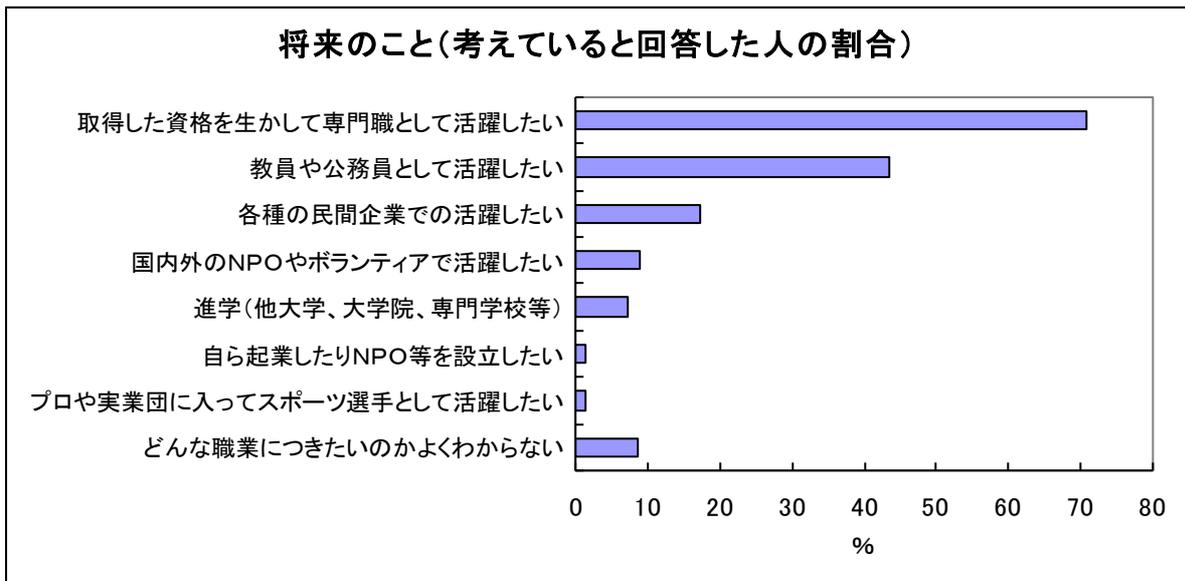


7. 将来のことについて

資格を生かした専門職を考えている学生が約7割おり、資格取得による専門職をめざす本学の特色が反映されていると思われる。

教員や公務員を考えている学生も半数近くいる。本学では、教職課程指導室や公務員受験対策室により手厚い支援を行っている。

民間企業が約2割、NPO等が約1割いる。これらの志望学生に対しては、カリキュラムとしてインターンシップが用意されており、キャリアセンターが親身になって支援している。

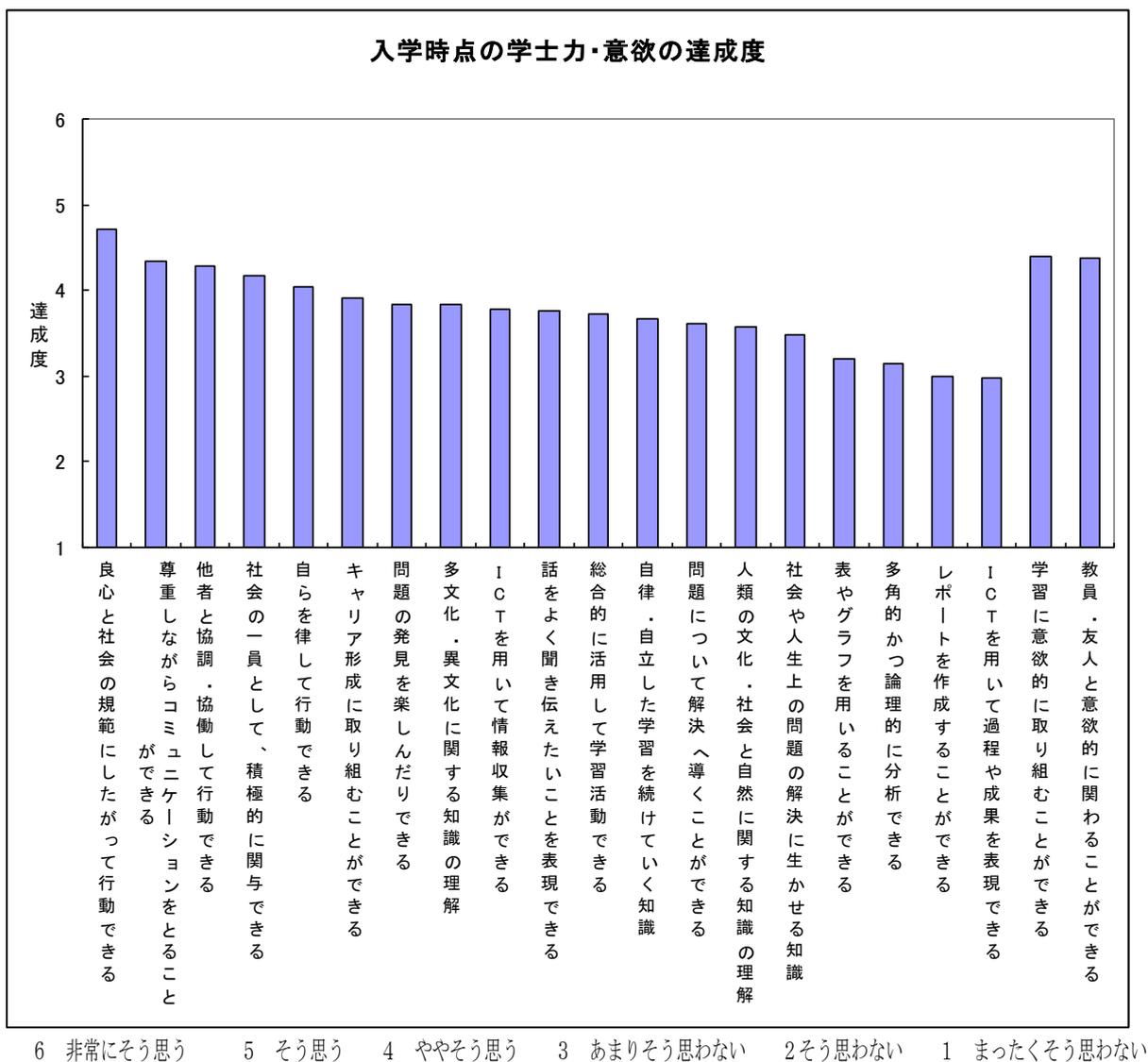


8. 入学時における学士力の達成度・意欲

態度・志向性やコミュニケーション・スキルに関しては、入学時にある程度達成していると思われる。ただし、「そう思う」までは至っていないので、大学では高校までの修得を踏まえてさらなる修得を図る意義があると思われる。

他方、ICTを用いたプレゼンテーション、レポート作成については入学時における達成度が低かった。大学4年間で、これらの学習スキルを修得することが重要であることがうかがえる。また、多角的・論理的に考える学習経験も望まれる。

学習の意欲と人と関わる意欲については、平均点が4（ややそう思う）以上にあり、ある程度の意欲を持っているといえる。さらに、意欲を高めるような取り組みが望まれる。



Ⅲ. 性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイトとの関連

1. 本学受験に役立った情報と性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイト

本学の受験に役立った情報（上位3項目）と統計的に有意な関連がみられた項目は、表2の通りであった（以下、関連は統計的に有意な関連を意味する）。

結果から、男子受験生にはパンフレット・ポスターとオープンキャンパスを利用してもらえるような工夫を、一般入試の学生にはパンフレット・ポスターとホームページとオープンキャンパスを利用してもらえるような工夫を、自宅外受験生にはオープンキャンパスを利用してもらえるような工夫を図ることが課題と思われる。

表2 受験に役立った情報と属性

受験に役立った情報	性別	入試形態	居住形態	実学臨床教育	アルバイト
パンフレット・ポスター	女子>男子	AO・推薦>一般		あり>なし	
ホームページ		推薦>AO・一般			
オープンキャンパス	女子>男子	AO・推薦>一般	自宅>自宅以外		

2. 志望順位と性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイト、本学受験に役立った情報、アドミッション・ポリシー（AP）の参考の程度

志望順位と関連がみられた項目は、入試形態、居住形態、本学受験に役立った情報、APの参考の程度であった。第一志望の人には、AO入試と推薦入試、自宅、本学受験に役立った情報として上位3項目を挙げている人、APを参考にしている人が多かった。

3. APと性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイト、本学受験に役立った情報

APの参考の程度と関連がみられた項目は、性別、入試形態であった。女子、AO入試受験者にはAPをかなり参考にした人が多かった。

4. 学業面の不安と性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイト

学業面の不安（上位3項目）との関連がみられた項目は、表3の通りであった。

結果から、女子には、授業の予習や復習およびノートの取り方に関して指導が望まれる。実学臨床教育の学生には授業の予習や復習についての指導が望まれる。推薦入試とAO入試で入学した学生は授業の内容に難しさを感じていると思われ、その対策として入学前の課題学習が大きな意義を持つと思われる。また、授業のペースについていけない学生はアルバイトをする余裕はなく、アルバイトをしている学生は授業のペースについていけなくなっていることもうかがえ、アルバイトをしている学生への学業支援も課題であろう。

表3 学業面の不安と属性

学業面の不安	性別	入試形態	居住形態	実学臨床教育	アルバイト
予習・復習の仕方がわからない	女子>男子			あり>なし	
ノートのとり方がわからない	女子>男子				
難しい、ペースについていけない		推薦・AO>一般			ない・いる>これから

5. 生活面の不安と性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイト

生活面の不安（上位3項目）との関連がみられた項目は、表の通りであった。

結果から、アルバイト学生への人間関係についての支援および経済的支援も課題と思われる。

表4 生活面の不安と属性

生活面の不安	性別	入試形態	居住形態	実学臨床教育	アルバイト
友人などの人間関係	女子>男子				これから>いる>いない
授業料について					している>これから>いない
精神的なこと					

6. 将来の進路と性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイト

将来の進路（上位3項目）との関連がみられた項目は、表の通りであった。

表5 生活面の不安と属性

将来の進路	性別	入試形態	居住形態	実学臨床教育	アルバイト
資格を生かした専門職	女子>男子	AO>推薦>一般			いる・これから>いない
教員や公務員	男子>女子				
民間企業			自宅>自宅以外		

7. 入学時の学士力の達成度・意欲と性別、入試形態、居住形態、実学臨床教育、アルバイト

入学時の学士力・意欲との関連がみられた項目は、表6の通りであった。

結果から、推薦入試やAO入試の学生には、入学前の学習で表やグラフの活用と論理的思考を修得するような課題を出すことが望まれる。

また、入学時に学士力がある程度身につけている学生はアルバイトにも積極的になると考えられる。

女子および一般入試の入学者には、人と関わる意欲を高めることが望まれる。

表6 入学時の学士力の達成度と属性

	性別	入試形態	居住形態	実学臨床教育	アルバイト
多文化・異文化に関する知識の理解	男子>女子				
人類の文化・社会と自然に関する知識の理解	男子>女子			実学生>非実学生	
社会や人生上の問題の解決に生かせる知識					これから>いない
自律・自立した学習を続けていく知識	男子>女子				
話をよく聞き伝えたいことを表現できる			自宅以外>自宅		
尊重しながらコミュニケーションをとることができる			自宅以外>自宅		いる・これから>いない
レポートを作成することができる	男子>女子				
表やグラフを用いることができる	男子>女子	一般>推薦・AO			
ICTを用いて情報収集ができる					
ICTを用いて過程や成果を表現できる	男子>女子	AO>一般・推薦			
多角的かつ論理的に分析できる	男子>女子	一般>推薦・AO			
自らを律して行動できる					いる・これから>いない
他者と協調・協働して行動できる					いる・これから>いない
良心と社会の規範にしたがって行動できる					
社会の一員として、積極的に関与できる					いる>これから>いない
キャリア形成に取り組むことができる					
総合的に活用して学習活動できる	男子>女子				いる・これから>いない
問題の発見を楽しんだりできる	男子>女子				
問題について解決へ導くことができる	男子>女子				いる>これから>いない
学習に意欲的に取り組むことができる					
教員・友人と意欲的に関わることができる	男性>女性	推薦>一般			

【資料 学士力達成度の項目】

(1) 知識・理解

- 1) 現在のあなたは、さまざまな文化や自分とは異なる文化の立場の人の考えや気持ち、行動をとらえており、多文化・異文化に関する知識の理解ができています
- 2) 現在のあなたは、歴史的文化的な事象や社会の事象、自然の事象について、その意味とその事象が起きた理由と自分との関連をとらえており、人類の文化・社会と自然に関する知識の理解ができています
- 3) 現在のあなたは、将来に出会う社会の問題や人生上の問題の解決に生かせる知識を学んでいる
- 4) 現在のあなたは、自律・自立した学習（自ら進んで、到達目標と学習計画を立て、実践し、自己および他者による点検や評価を行い、改善と見直しをするという取り組み）をこれから続けていくための知識や情熱を獲得している

(2) 汎用的技能

- 5) 現在のあなたは、他人の話をよく聞き、自分の伝えたいことをわかりやすく表現できる
- 6) 現在のあなたは、自分とは異なる意見を持つ人と互いを尊重しながらコミュニケーションをとることができる
- 7) 現在のあなたは、証拠に基づいてわかりやすく説得力のあるレポートを作成することができる
- 8) 現在のあなたは、表やグラフを用いて分析し、理解し、表現することができる
- 9) 現在のあなたは、インターネットなどの情報通信機器（ICT）を用いて問題解決のための情報収集ができる
- 10) 現在のあなたは、プレゼンテーションソフトなどの情報通信機器（ICT）を用いて問題解決の過程や成果を表現できる
- 11) 現在のあなたは、ものごとを多角的かつ論理的に分析できる

(3) 態度・志向性

- 12) 現在のあなたは、時間の管理や健康管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な対処行動など、自らを律して行動できる
- 13) 現在のあなたは、他者と協調・協働して、目標の実現のために、問題を共有し、方向性を示し、行動できる
- 14) 現在のあなたは、自らの良心と社会の規範やルールにしたがって行動できる
- 15) 現在のあなたは、社会の一員としての意識を持ち、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与できる
- 16) 現在のあなたは、自分をよく理解し、将来の展望を描き、キャリア形成に取り組むことができる

(4) 創造的思考力

- 17) 現在のあなたは、実際場面で出会う課題について、これまで獲得したさまざまな知識と理解、汎用的技能、態度・志向性を総合的に活用して学習活動できる
- 18) 現在のあなたは、社会を広く見わたし疑問に思ったり問題の発見を楽しんだりできる
- 19) 現在のあなたは、発見した問題について情報を集め、討議や調査などを行い、ねばり強く分析・整理して解決へ導くことができる

(5) 意欲

- 20) 現在のあなたは、大学での学習に意欲的に取り組むことができると思う
- 21) 現在のあなたは、大学で教員・友人と意欲的に関わることができると思う